

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25 48	<p>前回の目標達成計画では、生活の主体者として役割や楽しみを持って生活できるよう個々の目標を設定し支援した。その結果、具体的な目標に向かって生き生きと生活している姿が見られるようになった。そして日常生活場面においても生活意欲の向上などよい成果があった。そこで、役割や楽しみに対する支援と同時に、日常生活場面においてもできる能力を評価し、目標を設定し支援をしていくことで個々の能力の向上に繋がるのではないかと考えた。</p>	<p>個々の暮らしの場面においてできる能力を評価し、能力の向上につながる機会を作り提供する事で、できる事が増え喜びの多い生活につなげていく。</p>	<p>①センター方式D-1の内容の23項目の中で「場合によって出来そう」「場合によってしている」の項目のうち、生活を支える上で特に重要となる項目を個々に決定する。 ②個々に決定した項目について、能力に応じた達成目標(長期目標)までの段階(短期目標)を設定する。 ③ケアプランを作成する。 ④職員の日々の気づきを申し送りや週1回のカンファレンスで話し合い情報の共有に努める。</p>	1ヶ月
				<p>⑤センター方式D-1の項目において達成目標に向けた段階ができるようになったかを評価する。 ⑥ケアプランの内容を再検討する。 (本人の状態が変化した場合はその都度行う。)</p>	6ヶ月
				<p>⑧目標達成状況を評価し、今後の目標をご本人やご家族と話し合っていく。</p>	12ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。